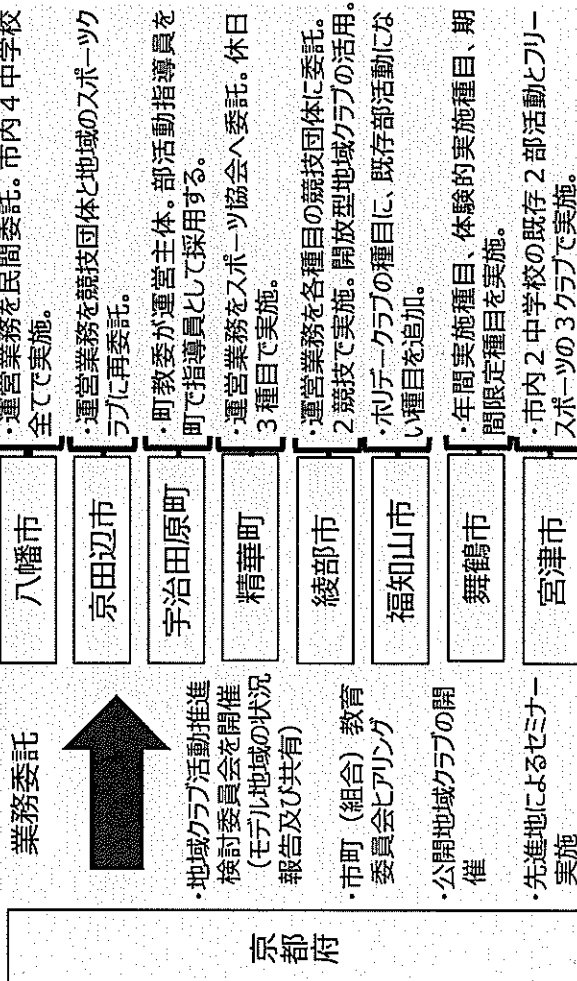


自治体の課題、現状

- ・生徒数減少により、地域によっては学校部活動の成立が困難な種目がある。
- ・学校部活動が、長時間勤務の要因や、指導経験のない教師には多大な負担となっているケースも見られる。
- ・府内自治体の地域移行に係る検討委員会の設置状況は約7割であり、地域連携・地域移行を進めるに当たっての体制構築に課題が見られる。
- ・実証自治体においては、全国的な検討課題である指導者の確保、費用負担、学校部活動との調整、トラブルへの対処等について、より具体的な課題が出てきている。

運営体制図



地域移行関連の取組、成果

- 1 京都府学校部活動及び地域クラブ活動推進指針の周知
①市町（組合）教育委員会及び首長部局へのオンデマンド説明動画の配信
②府スポーツ協会との連携による市町村体育・スポーツ協会及び競技団体への説明
③府にコーディネーターを配置し、全自治体へのヒアリングによる実態調査及びフォローアップ
- 2 京都府地域クラブ活動推進検討委員会の継続設置
①「運動部会」「文化部会」を合同で書面開催を含む年間3回実施し、今後の展開に向けた検討を行った。
②2部制で実施し、第1部は、有識者による検討委員会。第2部は、各自治体を対象とした説明会を実施し、質疑応答による各自治体同士の情報交換を行った。
- 3 公開地域クラブ活動を実施し、実践内容の共有
実際の活動場面を公開し、活動終了後の会議では、活発な意見交流ができた。
- 4 各地域のスポーツ関係部署を対象とした参集型のセミナーの実施
各自治体内での関係機関の連携・協議を目的として、府スポーツ振興課、府スポーツ協会と連携した取組として実施。先進的に進めている山口市の取組の紹介後、グループに分かれて協議を進めた。参集型にすることにより、活発な意見交流ができた。
- 5 指導者の確保・資質向上に向けた方策の研究
①府スポーツ協会と連携し、スポーツインテグリティに関する動画を作成、公開予定。
②府スポーツ振興課、府スポーツ協会と連携し、人材バンクの在り方に向けて、他府県の状況（既存バンクの活用、自主作成、業者委託、マッチング率等）を共有した。
- 6 開放型地域クラブの設置
府立高校の開放型地域クラブの実態把握及び活性化を図るため、各クラブへのヒアリングを実施した。また新しく2校で設立に向け、イベント開催等を行った。
- 7 府立高校附属中学校の学校部活動の現状把握及び意識調査
学校所在地域の教育委員会との連携に課題が見られる。

自治体の課題、現状

【現状】

京都府内（京都市を除く）中学校及び義務教育学校は96校
文化部活動数は233部活動、うち、休日に活動している部活動数は
85部活動である。

そのうち、吹奏楽が70部活動、美術部が5部活動、合唱が3部活動と
なっている。

令和5年度の実証事業には精華町が吹奏楽部の地域移行に取り組み、
その活動を公開した。

令和6年度の実証事業には、精華町及び福知山市で吹奏楽、舞鶴市
で合唱、吹奏楽、多様な活動について取り組み、舞鶴市で吹奏楽の
公開地域クラブ活動を実施した。

【課題】

- ・府内各自治体への周知
- ・活動場所の確保
- ・経費負担
- ・指導者の質と量の確保
- ・備品等の管理

地域文化クラブ活動等の概要

精華町（吹奏楽）

- ・けいはんなユースウインドオーケストラ

舞鶴市（合唱・吹奏楽・多様な活動）

- ・合唱 舞鶴子どもコーラス

- ・吹奏楽 舞鶴市吹奏楽連盟

- ・多様な活動 茶道・華道・将棋・服飾・演劇・ダンス

福知山市（吹奏楽）

- ・市内の中学校吹奏楽部が合同部活動として実施

地域移行関連の取組、成果

- ・京都府地域クラブ活動推進検討委員会（8月、10月、2月）

- ・地域クラブ活動説明会（9月）

- ・公開地域クラブ活動（1月）

舞鶴市 舞鶴市吹奏楽連盟の活動として実施

府立高校と連携し施設の活用や合同の活動として実施

- ・各市町（組合）教育委員会へのヒアリング

- ・指導者の確保について

- ・府立高等学校附属中学校の現状把握

運営体制図

